

教科別採択教科書報告書

教科名 国語	分野等 書写
出版社 光村図書	書名 中学書写
1. 学習指導要領への対応 (1) 各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成するという目標のもと、次のような点が優れている。 ・動画視聴(QRコード)の際は見通し・振り返りが個別にできるよう、画面に意識喚起のテロップが流れ、教科書に気づいた留意事項を書き込めるようになっている。主体的に学習に取り組むための手立てが明確である。 ・タブレットの使用(視聴・撮影)が前提となっており、タブレットを見るとき姿勢についても言及されている。 ・日常や行事、学習の様々な面で書写の技能を生かした事例が多数紹介されている。国語の授業と連動した言語活動も多数紹介されており、国語の読解や表現を工夫する書写の活かし方に触れることができる。 ・中学校で学ぶ行書の筆脈、筆の運びの流れが可視化されていたり、穂先の動きが具体的に書かれていたりするので、 (2) 我が国の伝統的な文字文化を継承し、これからの社会に役立つ様々な文字文化に関する「知識及び技能」について、理解し、文字を効果的に書くことができる力を育成するという目標のもと、次のような点が優れている。 ・動画の多視点的構成 他の教科書は上部からの撮影だけであるが光村図書は上部・側部から撮影しており、運筆や筆の息遣いが伝わってくる構成になっている。また、教科書上の表現も身体的な感覚を重視して書かれており、中学生に分かりやすくポイントを示している。 ・文字文化の継承とこれからの社会への活用例が豊富であるし、活用できるコンテンツが豊富である。	
2. 内容について (1) 教え込む書写の授業から学習者が自ら考え、学習を進める手立てが示され、各自が見通し振り返りを意識できる内容となっている。 (2) 動画をもとに、書字ポイントを押さえることができる仕組みになっている。 (3) 楷書と行書を比較して考察できたり、他の文字に活用したりする動画コンテンツも用意されている。 (4) 別冊が用意され、毛筆で学習したことが硬筆でも生かされるような構成になっている。また、公立高校入試に頻出の書写技能についても別冊で触れられる。 (5) 伝統の継承という点にも力を注いでおり、書初めの成り立ちやいわれについて知ることできる。	
3. 造本について (1) 硬筆練習帳「書写ブック」が別冊付録のような形でついており、毛筆から硬筆への移行、3年間の学習が網羅的に総括でき、提出も可能である。 (2) 「書初めマスターブック」により、書初めの文化や歴史、書く際のポイントを理解し、書くことに活用することができる。 (3) QRコードによる動画内容が豊富である。 (4) 「お手本君」というコンテンツが用意され、名前のお手本も準備することができる。 (5) お手本の大きさとして、半紙の大きさに対して適切である。	